

# 北陸

北陸支局  
〒920-0912 金沢市大手町  
13-11 グランド/レリス大手町503  
電 話 076-281-6062  
F A X 076-281-6063

新潟支局  
〒950-0961 新潟市東区出来  
島1-15 中越川崎ビル2階  
電 話 025-281-3094  
F A X 025-281-3160

## 新潟県内土木11社

# 無水掘工法協会を設立

## 会長に 大川教授 震災復旧工事に照準

新潟県内の土木建設会社などに照準を合わせて社日は8日、新潟市内において、今後、新技術の採り、新技術の採用拡大に向け、発注者な新潟県無水掘工法協会の設立総会を開いた。同工法に関する協会設立は全国で初めて。新技術の普及に貢献するM.L.Tソイル、本間技及発展に学術研究機関が、建、新朝開発工業の3社、らの技術支援が不可欠で、賛助会員には新潟藤田組、福田組、本間組、水大工学部副学部長で地域共同研究センター長の川秀雄教授を選出した。工業の8社が参画している。新潟県中越地震の復旧工



な分、自然をあまり痛めないで施工できる。中越地震の復興にも有益な優れた工法であるため、私としても何か役に立てるかもしれないと考え、会長職を引き受けることにした」と話した。

大川教授は「この工法は水を使わないため、地山の安定にも効果がある。足場がコンパクト

削減や工期短縮にも効果がある。日常交通量が多く交通規制がかけられない道路脇や鉄道脇でも安全に施工でき、社会的コストの低減にもつながる。

同工法は削孔水を使わずに圧密削孔による孔壁保持を可能としたアースアンカーやロックボルトの削孔技術。水を使わな

は県発注の佐渡黒姫トンネル工事の坑口部法面アンカー工で最初に採用された。北陸地方整備局でも長岡国道事務所の湯沢管内と小出管内の防雪施設工事で「技術活用パイロット事業」として採用している。

国土交通省が再編・強化したNETIS「新技術情報システム」の「評価試行方式」の新技術としていち早く評価認定を受けており、新潟県内で

県内企業で構成する同協会の設立は、新潟県の泉田裕彦知事が中越地震の災害復旧工事で地元優先調達の方針を鮮明に打ち出していることが背景にある。今後、災害復旧